

みんなでつくるまち条例 タウンミーティング開催結果

【日時及び場所】

11月17日(金) 10:00～11:30

杵ヶ池体育館 ミーティングルーム

【参加者数】

20人

【日常のまちづくりに対する意見交換内容】

- ・必要な情報が埋もれてしまう。
- ・行事等に行こうと誰かから声をかけてもらえると、参加しやすい。
- ・市役所は、市民が集まるところに出かけて、声をかけなければ集まらないと思う。
- ・市役所は、広報、ホームページだけで広報していたのではだめ。
- ・50年後に向かって、それぞれの時代に合わせた議論が必要である。
- ・各自治会の役割はどうなるのか。

※その他、Nバスに関する具体的な意見や要望がありました。

【条例に対する意見・感想】

- ・この条例について、もっと地域で説明すべきでは。
- ・市民、議会、市3者の意見、情報交換の場はどういったものか。
- ・職員の役割と責務は、誰が把握するのか。

【条例内容についての意見】

- ・財政・執行・予算作成時の情報公開責任を明記すべき。
- ・市長は、市民参加型予算編成による予算案をもとに執行業務を行う。
- ・議員は、市民参加型予算編成による予算案をもとに議会を行う。
- ・市民は、市政に対し市民参加型予算編成へ参加できる権利を持つ。

みんなでつくるまち条例 タウンミーティング開催結果

【日時及び場所】

11月21日(火) 19:00～20:30

西小校区共生ステーション

【参加者数】

12人

【日常のまちづくりに対する意見交換内容】

- ・コミュニティに「福祉」を担ってもらいたいのか？
- ・まちづくりは、協議会を設立すればうまくいくとは限らない。不安がある。他の事例から学び、活かすべき。
- ・近所の高齢の方が困りごとをきっかけに、顔見知りの関係になった。人に声かけ、地道に活動していくことが大事だと思う。

【条例に対する意見・感想】

- ・市民、職員それぞれが、この条例に書かれた役割を果たしているか、条例検討員会(自治KEN)有志で、今後もチェックしていきたい。
- ・まちづくり協議会を、地域の人に認めてもらいたい。条例に、協議会のことが書かれて、後押ししてくれるので安心して取り組める。
- ・条例の名称が親しみやすくなってよかった。
- ・隣、近所の人にも、この条例を読んでもらって、まちづくりが自分ごととなり、一人ひとりが立ち上がって大きな力になっていくとよい。

みんなでつくるまち条例 タウンミーティング開催結果

【日時及び場所】

11月22日(水) 19:00~20:30

福祉の家2階 研修室

【参加者数】

9人

【日常のまちづくりについての意見交換内容】

- ・古くから住んでいる人達はつながりがあるが、新しく引っ越してきた人が情報が得にくい。双方のコミュニケーションも少なく、情報共有がされていない。まち全体を見ても、情報がいきわたっていないと感じる。
- ・ITの進歩で、情報を取り巻く環境が変わっていくのでは。
- ・あいさつが重要で、防犯防災につながる。地域の行事によってふれあいを増やすことも大事ではないか。
- ・この条例が、自分の活動(自分たちで使うエネルギーをつくる「エネルギーの自治」の活動)の後押しとなればよい。市の支援(その仕組みも)が必要である。
- ・市民がやりたいと思うことを実現するためのシステムが必要ではないか。
- ・市民の意見に行政が答えていくべきではないか。
- ・(行政は)前例がないと言わないでもらいたい。

【条例内容についての意見】

- ・議員の役割の記述がないので、記載すべきでは。
- ・市民主権を明確にする条例にするために、市政を執行する予算編成を市民参加型へ！
- ・詩に出てくる家族のプロフィールが、おじいさんの代から長久手在住ということだが、今の長久手には新しく越してくる方が多く、違和感を感じる。

【わたしができること、実現したいこと、さらに頑張りたいこと】

- ・子育てしやすい・交流ができる・集まる場は作ってほしい！と自治会、子ども会、行政に伝えていきたい。
- ・地域の人がお互いの顔を知り、気軽に挨拶できるまちづくり
- ・防災・防犯を通じた地域の絆づくり

みんなでつくるまち条例 タウンミーティング開催結果

【日時及び場所】

11月23日(木・祝) 10:00~11:30

北小学校 多目的室

【参加者数】

20人

【日常のまちづくりについての意見交換内容】

- ・北小近くの農園を地域で管理しており、地域の人つながりができている。敷居が低く、子ども会の方にも参加してもらっている。収穫した作物を防災訓練で使った。
- ・市民健康団をつくりたい。
- ・まちづくりが他人事から自分事になるとよい。
- ・市民参加のプロセスが大事である。市民議会があるといいのでは。
- ・議会から決算に対する付帯決議がなされ、それについてみんなが考える必要があるのでは。
- ・昔は地域のことはみんなで手作りしてきたが、それを市が肩代わりするようになり、まちづくりという言葉が生まれたのでは。
- ・まちづくりのきっかけはまずはあいさつ。防犯防災にもつながる。
- ・今の人口が顔の見える行政の限界。将来の子どもたちのためによりまちをつくっていかねばならない。
- ・市民の「やりたい！」という想いを、すべて行政が受け止めるのは難しい。中間的に受ける組織がいるのでは。
- ・防災訓練で、要支援者の安否確認を地域も関わるのが大事だが、個人情報壁があるのが課題である。
- ・防災訓練時に、安否確認の情報共有がうまくいってなかったと感じた。
- ・まちづくりは、行政も市民も縦割りではなく、横につながり、連携して進めていかなければならない。

【条例に対する意見・感想】

- ・普段の活動が条例により認められるものになるのではないかな。
- ・市のまちづくりの基本となる大事な条例を、市民がどう受け止め、どう参加したり行動していくのか。
- ・この条例の趣旨をもっと広めていくことが大事ではないかな。

【わたしができること、実現したいこと、さらに頑張りたいこと】

- ・市民レベルの健康福祉団の設立、健康福祉対策
- ・多くの人にこの条例について関心をもってもらえるよう情報発信のお手伝いをする。
- ・家の前の道に落ちているごみを拾う。
- ・まちづくり協議会の発足のお手伝いをする。
- ・人のお役に立ちたい想いはあるけど、年齢もあり、人を気遣う程度しかできない状態ですが、できることがあればいいなと思います。お話を聞くことなどはできると思います。

みんなでつくるまち条例 タウンミーティング開催結果

【日時及び場所】

11月24日(金) 10:00~11:30

市役所会議室棟 会議室D・E・F

【参加者数】

16人

【日常のまちづくりについての意見交換内容】

- ・IKEAができ、渋滞して子どもたちが遊びにこれなくなった。
- ・市からの補助金は、ひとつの団体にではなく、市民全体にいきわたるべきではないか。
- ・昔から住んでいる市民にとっては当たり前のことも、そうでないことがあり、色々な視点を持って活動を行うことが大事であると気づいた。
- ・小学校区では解決できないことがある。それはどうしたらいいのか。
- ・市内には休耕地があるが、使いたい人もいる。ニーズのミスマッチがあると感じる。
- ・他の自治体職員よりあいさつができていていると思う。
- ・日々の暮らしを整えながら、今ある資源を活かしてまちづくりを行うためにはどうしたらよいか。
- ・独居老人の暮らしのサポートをするために、市民と行政をつなぐ中間的な受け皿がない。

【条例に対する意見・感想】

- ・この条例に書かれている内容が、法としてはまだ熟してないのではないかな。
- ・詩がとてもよい。だが、家族のプロフィールが今の長久手に合っていない部分があるのでは。
- ・条例は具体性に欠けるので、困りごとを解決するのには不十分ではないか。
- ・多様な市民参加の機会に、予算編成を明文化

【わたしができること、実現したいこと、さらに頑張りたいこと】

- ・一人でも多く自治会に加入してもらおう。自治会を通じて地域の問題を解決する。
- ・住みよい街とは？困ったことを解決してくれる街です。

みんなでつくるまち条例 タウンミーティング開催結果

【日時及び場所】

11月25日(土) 10:00～11:30

市が洞小学校 多目的室

【参加者数】

10人

【日常のまちづくりについての意見交換内容】

- ・あいさつをしない子どもが多い。
- ・若い母親が参加しやすい行政の場づくりが必要ではないか。
- ・自助・共助・公助+近所(近助)
- ・行政・議会と市民をつなぐ組織が必要ではないか。
- ・行政はPRが上手でない。広報体制の整備が必要ではないか。
- ・市民が何か実現しようとするときに、(相談やその回答する)行政のワンストップの窓口(システム)があるとよい。
- ・Nバスに乗っている中で、多くの知り合いができた。
- ・高齢者になったら、Nバス、自転車で移動しやすいようにしてほしい。
- ・共生ステーションに意見箱を設置して、意見をもらってはどうか。
- ・詩がよい。子どもたちにPRしたり、紙芝居したりしたらどうか。

【条例に対する意見・感想】

- ・市民、議会、市それぞれが一步ふみだすための条例になればいい。

【わたしができること、実現したいこと、さらに頑張ってみたいこと】

- ・地域の組織、行事の見直し、まちづくり協議会と密接に連携して、次世代にバトンを渡したい。